



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒662-0977 西宮市神楽町5-23
 西宮YMCA内
 ☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2013年4月会報 第295号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Philip Mathai (インド)
 主題: "Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」
 標語: "Share your blessings in love" 「恵みを愛もて分かち合おう」
- アジア地域会長(AP) Oliver wu (台湾)
 主題: "Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
 標語: "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ます」
- 西日本区理事(RD) 成瀬 晃三 (名古屋)
 主題: 「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」
 "Let Y'smes Light Shine before Others
 In the club, in the community, in the world"
 標語: 「ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう」
 "Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!"
- 六甲部長 上野 恭男(芦屋)
 主題: 「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」
- 宝塚クラブ会長 長尾 亘
 主題: 「原点に帰って、楽しい例会」
 "Back to the Origin!! Joyful Meeting."

今月のテーマ:YMCA サービス・ASF
 しかし、わたしが神の指で悪霊を追い出しているのであれば、神の国
 はあなたたちのところに来ているのだ。

ルカによる福音書11:20

2013年4月第1例会

- 日 時: 2013年4月10日(水)18:30
 場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費: 会員3,000円、会員外3,500円
 ドライバー 水谷 恭子
 谷川 尚
 多胡 葉子副会長
 全 員
 堀江 裕一
 吉田 明
 多胡 葉子副会長
- 開会点鐘
 ワイズソング
 聖 書
 祈 祷
 ゲスト・ビジター紹介
 会 食
 ゲストスピーカー
 大阪土佐堀クラブ 岡野泰和氏
 「次期アジア会長の抱負」
- 誕生日のお祝い
 会長報告 多胡 葉子副会長
 YMCA 報告 谷川 尚連絡主事
 閉会点鐘 多胡 葉子副会長

2012/13 役員	会 長 長尾 亘 直前会長 山崎泰男 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚、 六甲部地域奉仕環境事業主査 山崎泰男 西日本区交流事業主任 石田由美子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 多胡 葉子 地域奉仕・環境 山崎泰男、E M C 福田宏子 交 流 石田由美子 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	小嶋星子(4月26日)
3 月 実 績	在籍会員数 25名 例会出席者数 24名 うち会員数 19名 出席率 76.0% メイクアップ(内数) 0名 メネット 2名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター3名
	BFポイント 3月 5,600円 累 計 42,261円 ここにこBOX 3月 3,000円 累 計 27,000円 物品販売累計 20,300円

2013年3月第1例会

3月の第一例会はまず初めに先月に急逝された成瀬理事ワイズのご冥福を皆で黙祷によってお祈りいたしました。宝塚クリスマスキャロルにも出席して下さい、また翌日には共に朝食を頂き、今でも信じられないような気持ちです。



今月のゲストスピーカーははんしん自立の家施設長の石田英子さんでした。英国チェシャーホームの理念を受け継いでいるはんしん自立の家。「ハンディキャップを持つ人たちに真の自由な暮らしを」という精神を共有している。施設ではなく自分の家で暮らすことを目指しておられるとのこと。施設らしくしたくない、普通のお家に近い形を取りたいと話されていました。二階建てで看板もなくまたお花も植えられ温かい雰囲気。地域で暮らす満足度が高いということからいろんな人と繋がっているのも施設の中でも家のなかで暮らしているのと同じと考えておられるようです。たくさんの人との繋がりを助けていくのが私達の役割ではないか。大変難しいと思われる論語も学ぶことによって大きな声が出るようになり学ぶ喜びがあったこと。出来なくても出来なくても普通の人々がやっていることはやってみよう。いろんなことを経験することでたくさんの思い出を持っていただけるようにしていきたい。また障害を持つ人々はたくさん

の人を引き付ける力があるのではないかという言葉に感銘を受けました。

誕生日のお祝い後、会長報告で5月の宝塚ワイズ25周年事業についての報告、他クラブへ例会に訪問して参加を依頼するなどのお話がありました。また6月の西日本大会への参加、また8月にマニラで開催される世界大会への参加案内があり最後に長尾会長の閉会点鐘で第1例会は終わりました。

鯖尻佳子

3月第2例会報告

3月22日(金)18時30分からハッピーハウスに、長尾会長、多胡、石田、堀江、山崎、若林各メン、今田、福田各メネットの8名が出席して第2例会が行われた。

- 4月第1例会のゲストスピーカーに次期アジア会長の岡野泰和氏を迎え、最新の国際ワイズ情報などの報告をお願いする。
- 例会の役割分担とブリテン4月号の寄稿分担、制作日程を確認した。
- 近隣ワイズの例会等の案内
 - 4/6(土)10～16時、三田クラブのお花見例会。神戸女学院キャンパスにて、昼食弁当代1000円、申込は4/2まで。
 - 4/20(土)13～17時、西日本区メネット事業。「心のケアを考える」講習会。講師は宗方比佐子氏ほか。神戸YMCAにて。無料。申込は4/14まで。
 - 4/21(日)14～16時、芦屋クラブ15周年記念講演会と交流会。「杯が溢れる人生」関学院長グルーベル氏。JR芦屋駅前ラポルテホール。入場券1000円、申込は多胡メンまで。
- 宝塚クラブ25周年記念事業実行委員会に切替え、準備・集客についての情報を共有し、運営の細部を協議した。

(若林)

六甲部第2回評議会報告

3月16日(土)15:00～ 神戸YMCAで六甲部第2回評議会が開催され、最初に、去る2月25日に天に召された故成瀬理事のご冥福を祈り、全員で黙祷を捧げました。

評議会は柏原書記の司会進行で進められ出席者52名、宝塚クラブからは長尾会長・多胡副会長・石田主任・堀江メン・青柳メン・山崎計6名出席いたしました。

上野六甲部長の開会点鐘、ワイズソング斉唱、鈴木西日本区監事祈祷、来賓として水野神戸YMCA総主事のご挨拶を戴き、本題に入りました。

議事定数の確認後、上野部長より多岐にわたる9ヶ月間の活動報告・桑野会計より会計中間報告され承認されました。次に山田次期六甲部長から次期役員について山田部長・大野書記・山崎会計(神戸ポート)が報告され承認されました。その後六甲部各事業の主査活動報告・各クラブ会長活動報告がされ承認し、最後にYMCAの歌を斉唱後上野部長の開会点鐘で第1部は終了いたしました。

第2部の合同懇親会に入り、食前感謝・乾杯を行いみんなで楽しく歓談、大野さん(神戸ポートC)、岡山さん(神戸西C)のギターに合わせ懐かしのソングを歌い、2時間があっという間に過ぎ去りました。クラブPRコーナーで宝塚クラブは25周年記念例会の案内を多胡委員長他みんなで宣伝し、最後に芦屋クラブ島田会長の終わりの挨拶で終了いたしました。

山崎泰男

※ ※ ※ ※ ※

2012年度次期会長・主査研修会が3月9日～10日新大阪チサンホテルで行われました。次期会長の石田ワイズと次期六甲部Yサ・ユース事業主査の長尾ワイズが出席しました。

交流事業便り

★新たなDBCパートナー誕生！

2013年3月3日(日)、京都グローバルクラブ20周年記念例会に於いて、東日本区宇都宮クラブとのDBC締結式が執り行われました。



今期、阿蘇クラブ/京都ZEROクラブに続いて2組目のDBCです。宇都宮クラブ・佐藤勝久会長と京都グローバルクラブ・松谷隆史会長が締結証にサインし、最後に西日本区高瀬稔彦理事代理が承認のサインをして新しいブラザーが誕生しました。

この日に至った経過は、1年前に京都グローバルクラブが人数、活動内容など、自分たちのクラブに見合ったクラブを東日本区で探していて、「ここだ！」と宇都宮クラブへ突然のプロポーズをしたそうです。その後、行ったり来たりとの交流のあと、この日を迎えました。今後は、例会訪問、事業参加、地方名産のファンなど、計画しているそうです。おめでとうございます！

★ケニヤ・タンザニヤの貴重な体験を共有！

2013年3月20日(水)、名古屋YMCAに於いて、中部・四日市クラブ・大西慎太郎コメントのSTEP事業報告会が開かれ、会議室が一杯になる位のワイズメン、YMCA関係者、リーダー達が参加し、去年8月1日から10月18日までのケニヤ・タンザニヤ滞在中体験した多くの学びを共有し、大きな刺激と感動を持ちました。先進国の日本はどんな形で貧困、スラムなどを抱えるケニヤと良い関係を持って行けばいいのか、今後自分は何をしてこの経験を活かしていけばいいのか、など22歳の青年の言葉は非常に心に響きました。



彼によれば、STEPは全く自由に自分がデザインして、見たいこと、やりたいことに挑戦出来る素晴らしいプログラムである、とのこと。そして、この様な事業を持って推進しているワイズメンズクラブに大きな感謝と敬意を表します、と締めくくりました。

ワイズメンズの皆さんにSTEP事業としてどのように予算が使われているかを知らせ、又、ユースの人達に新たなモチベーションを与える効果的なツールとして、中部が中心になって彼の報告書を製本化する企画があります。

元気を与えられた名古屋の一日でした。
(石田由美子)

揚がれ!希望の凧!宝塚から東日本へ!

今年も宝塚ワイズは奈良昭彦さんの呼びかけに応え「揚がれ凧!宝塚から東日本へ!」のプロジェクトを立ち上げFM宝塚83.5に出演して



アピールしました。快晴と暖かい気温の素晴らしい天候に恵まれた当日3月9日でした。午前中はさざんか福祉会凧製作部のスタッフお二人の指導でこども大人、リーダー約20人と共に思い思いの図柄を書いた凧をつくりました。そして、お昼からは武庫川の河川敷に場所を移

し、東日本の被災地の方々に思いを馳せ、凧をあげの開始です。日本凧の会の宝塚在住のメンバーや、アトムと天女の連凧を持って参加して下さった方々と一緒に約50人の方々が澄み渡る大空に凧をあげました。こども達の凧揚げはリーダーやさざんか福祉会のスタッフ、凧の会のメンバーが助っ人です。広い河川敷に自分たちで作った凧が舞い上がり、歓声を上げて走り回る姿に東日本の被災地でもこども達も一日も早く同じ笑顔で凧揚げが出来るようにと願って一時間の短い時間の支援プロジェクトでした。また来年とそれぞれが挨拶をして帰って行きました。

今回は読売新聞と朝日新聞からの取材をうけ明るく日には地方版にしっかりと掲載されましたので見ていただいたとおもいます。

また、こども達の凧づくりにワイズのメンバーからの献金を含んで



30,000円で80機の凧をさざんか福祉会から購入しましたが、47機があまりりました。その余った凧はこの春に福島から来る子ども達のキャンプが余島で開催されます。その時にプログラムとしての凧揚げに活用していただくために寄付いたしましたことをご報告いたします。



多胡 葉子

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

イエスという方は特別の賜物を持っておられて、多くの病人たち、目の見えない人、耳の聞こえない人、手足の不自由なひとたちを祈りで癒されました。それを妬む人たちは「あれは悪霊の親玉だ。親玉が子分たちを追い出しているのだ。」と非難しました。その非難に対して、イエスは「神の指」で悪霊を追い出しているのだと答えられました。私たちもそれぞれ「神の指」というには僭越ですが、「神から頂いている指」を持ち合わせています。その指で美しい字を書いたり、料理を作ったり、楽器で音を奏でたり、疲れた人の肩をほぐして上げたりしています。この「神の指」は、思いもかけず災いを作り出すこともあります。「悪の指」と化したり、なにもしない「無為の指」とならないように、この可能性を秘めた「神の指」を大事にしたいものと思います。



新年度となりました。保育園では桜並木の中、新しい園児 16 名が通ってきます。まだなれぬ生活の中、泣き声が響く保育園ですが、早く新入園児の心が落ち着くようにと保育を行っています。

皆様におかれては、新しい年、また YMC A の歩みを応援いただければと思います。どうかよろしくお祈りします。

1) 創立記念日礼拝

神戸 YMCA 創立 127 周年のときを、祈りとメッセージで守ります。創立当時の指導者たちの志を改めて思い起こすと共に未来に向かっての私たちの志を確認する機会として行います。

日程：5月8日(水)18:30～20:30

場所：神戸 YMCA 三宮会館 1 階チャペル

メッセージ：「神の呼びかけに応える YMCA」元東京 YMCA 主事、現関西学院大学神学部教授・宗教主事 山本俊正氏
礼拝後お茶の会を催します

2) 西宮 YMCA 野外活動 体験例会

青少年の課外活動経験がその後人生を豊かにしていると総務省の調査でも明らかになりましたが、特に今日自然に触れる機会が社会教育としても大切だと感じています。そんな中 100 年に及ぶ YMCA のキャンプを毎月経験する「野外活動」の体験の機会を 3 月につづき設けましたのでぜひ広くご吹聴ください。

対象：新年中～新 6 年生(子どものみの参加になります)

日程：4月28日(日)時間は集合場所によりますが 9:00 ごろから 15:00 ごろ

集合場所：JR 住吉駅・阪急夙川駅・阪急西宮北口駅

行き場所：西宮市立野外活動センター(甲山キャンプ場)

参加費：1,500 円

お申込みの方は西宮 YMCA (0798-35-5987) にお電話ください

谷川 尚(連絡主事)

25 周年記念例会の案内完了

【特別寄稿】

成瀬晃三理事のこと

「ゆみねえ、成瀬理事が昨日、亡くなったんだよ」と理事キャビネット書記の平野実郎さんから 2 月 26 日のお昼前に電話があった。意味を理解するのに何秒か掛かり、発した言葉は「それ、何？」だった。18 年前の阪神大震災の瞬間、大揺れの中、言っていた言葉は、やはり「これ、何？」私は突然のショッキングな出来事には同じことを言うのだ、とその後の混乱状態の中で変なことに気が付いた。成瀬理事の急逝はその様に天地がひっくり返る事態だった。平野書記の話しでは、クアラルンプールの会議から帰国して掛かり付けの病院で診察を受ける前に亡くなった、と。何と言うこと・・・2 月 27 日の前夜式、28 日の葬送式は名古屋・栄の中心にある名古屋中央教会で執り行われ、たくさんのワイズメンが各地からお別れとお礼に参列した。教会玄関に出されている「故・成瀬晃三葬送式」の「故」と言う字がどうしても違和感があって受け入れられない人は私一人ではなかったのではないか、と思う。



初めてお顔を見たのは、2011 年 2 月、岩国みなみクラブの設立の日、岩国 YMCA だった。成瀬期の交流事業主任を受けた直後で、初対面でお互いによろしくのご挨拶だけであったが、8 か月後の六甲部部会の前に 1 時間ほどゆっくり話した時に、塚口教会出身、ずっと阪急沿線、逆瀬川にあった三和銀行グランド、共通の友人、など身近な話題が続き、すっかり「阪神間の仲間」になってしまった。

その後の研修会、役員会など緊張の中、チーム成瀬として時間を共有して行くと、あの微笑み、話し方、などに触れホッと助けて貰ったことが何度もある。

成瀬理事は三菱自動車勤務時代、インドネシア、マレーシア、北米など海外生活は 16 年になると聞き、理事方針のキーワードが、「若者」「国際」「現場」の 3 つ、と言うのが納得できた。今期がスタートして直ぐに、中部四日市クラブから大西慎太郎コメントが STEP としてケニヤ・ナイロビへ出発し、現地の抱える問題や若者同士の交流などホームスティしながら学ぶと言う、まさにこの 3 つのキーワードをカバーする嬉しい一歩があった。四日市クラブでの壮行会の時、「男子がこうやって海外へ飛び出してくれるのは本当に嬉しい」と理事は優しい目をますます細めて彼を激励された。



8 月から 10 月にかけての 9 部会ツアーに理事は全部出席、私も皆勤で、その頃は毎週、時には毎日顔を合わせ「由美子さん、頑張ってるなあ」と声をかけて貰った。その中で、宝塚クラブの最大イベント、「キャロルを歌う夕べ」にぜひ、来てください、とお誘いした。約束通り、名古屋から当日、12 月 14 日、ベガホールへ顔を出してくださった。クリスマスバージョンのネクタイ姿で・・・阪和部の正野忠之部長、LD 委員の人見晃弘さんと並んで司会台のすぐ側最前列、いわゆる「かぶりつき」でニコニコと出演者の演奏や踊り

を楽しんで頂いた。「きよしこのよる」では立って一緒に踊り、ハレルヤコーラスは力一杯歌い、本当に楽しそうだった。中学の時、音楽の時間にハレルヤを習って以来やなあ、と心の底からこのコンサートを楽しんだ、と言って貰った。「又、来年もね」と約束したのに・・・5月25日の25周年記念例会にも勿論出席予定であったのに、コンサート翌朝のクラブメンバーとの朝食会が宝塚クラブにとっては最後の時間になってしまった。名古屋中央教会の牧師先生によれば、最近の理事は少し疲れ気味だったとか。又、滞在先のクアラルンプールでは体調不良で病院で点滴を受けたとか、そんな話を聞く度に、何でも気軽にお願いが出来るのを良いことに、無理をさせてしまったのではないかと心が痛む。ご息子は「ワイズの活動を本当に楽しんでいました」とお話されていた。それなら許して貰えるかなあ、又、宝塚へ来てくれるかなあ、なるちゃん・・・
神様の側で見守っていてくださいね。

(石田由美子)

2012 年 12 月 15 日 悲しい思い出と成ってしまった成瀬理事を囲んでの朝食会



宝塚クラブ一同、ご冥福をお祈り致します。